

第9回卓和会 歴史散策

2013 年 10 月 12 日
平田 幸雄

今回の卓和会 歴史散策は、横浜国大卓球部創部 60 周年記念事業の一環として実施するものです。

本日のコース順路

鎌倉駅→(バス)→光明寺→光明寺祖廟所→内藤家墓所→六角の井→(小坪で昼食)
→正覚寺→住吉神社(住吉城跡)→補陀落寺→(バス)→鎌倉駅→反省会

光明寺

浄土宗の関東総本山、山号 天照山、

開山 然阿良忠^{ねんなりようちゆう}(記主禅師)、開基 北条経時(1240 年蓮華寺、1243 年移転し光明寺)、お十夜法要、三尊五祖の庭

(三尊→阿弥陀如来、観世音・勢至観音菩薩、五祖→釈迦、善導、法然、聖光、記主)

記主庭園、

鎌倉アカデミア

光明寺祖廟所

記主禅師、他歴代の住職の墓(卵塔又は無縫塔)、北条経時の墓(宝篋印塔)

内藤家の墓所

普代大名(磐城平藩主→日向延岡藩主)内藤家の江戸時代の墓所

和賀江嶋^{わかえのしま}(2 頁復元想像図参照)

現存する最古の築港遺跡(国指定史跡)、極楽寺が管理、江戸時代まで利用

六角ノ井(矢の根ノ井)

鎌倉十井の一つ、井戸の形状は八角(鎌倉側 6 角、小坪側 2 角)

源為朝が大島から放った矢がこの井戸に入ったという伝説がある。

正覚寺

然阿良忠が最初に鎌倉に来て浄土宗を広めた場所、悟真寺建立→1512 年住吉城と共に火事で焼失
→1541 年光明寺 18 世 快誉^{かいよ}が住吉山 正覚寺として再興

住吉城跡・住吉神社

戦国時代の山城、三浦義同^{よしあつ}(道寸)の支城、城主は弟の道合^{どうごう}(道香)、1512 年北条早雲に攻撃され、破れ、逗子の延命寺^{じじん}で自刃。道寸は、三崎の新井城に退く。

城の遺構→「くらやみやぐら」と呼ばれる洞窟→現在、通行止め。

洞窟を出た先に、人工的に平にした曲輪^{くるわ}、土塁、堀、切岸(人工的に作った垂直の壁)などがあったが、宅地造成で失われた。

補陀落寺

真言宗大覚寺派、山号 南向山 別名 竜巻寺(江戸時代にたびたび竜巻に襲われたため)

頼朝の祈願所として 1181 年創建。開山 文覚

本尊 十一面観音菩薩像(平安時代後期の作)

薬師如来像 行基作

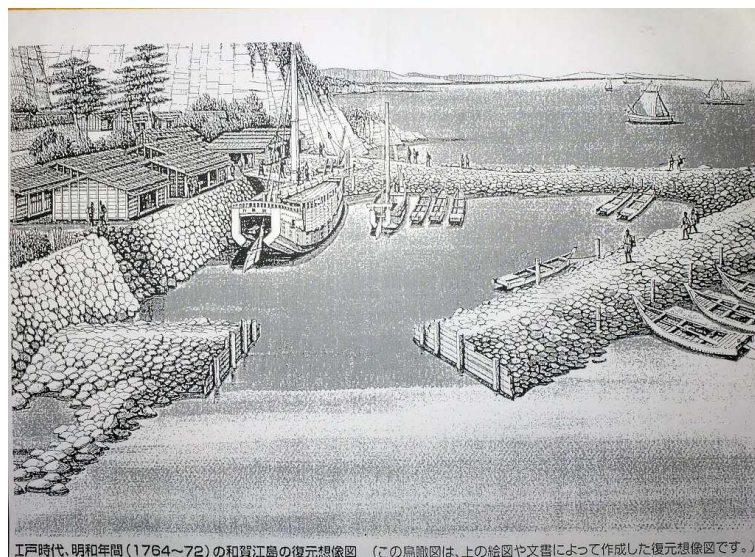
日光・月光菩薩^{がっこう} 伝運慶作

地藏菩薩 空海(弘法大師)作

平家の赤旗 平宗盛が最後まで持っていたといわれる旗(4, 5 月だけ公開)

その他の像は、添付の「補陀落寺の像等」参照。

和賀江嶋の復元想像図



江戸時代、明和年間(1764~72)の和賀江嶋の復元想像図 (この鳥瞰図は、上の絵図や文書によって作成した復元想像図です。)